



人権啓発標語 「大じょうぶ? 元気がないよ どうしたの」

菊陽南小学校 3年 富永 幸奈(現在4年生)

「人権集会を通して分かったこと」

武蔵ヶ丘中学校 2年 吉田 結(現在3年生)

一学期の学年人権集会で、私は自分の体験を発表した。発表し終わった今でも「失敗したときに笑いが起きる」のはおかしいと思っている。どんな理由があるのだ。私は失敗した後で友だちが支えてくれたから立ち直ることができた。だが、そのフォローをかけてもらえなかった人はどうなるのだろう。

みんなの前では笑って耐えているかもしれないが、心の中ではどう思っているのかは分からない。本当はとても嫌なのかもしれない。そんなささいなことがきっかけで学校にも行きたくないと思う人だっているのかもしれない。

私は以前その「笑う側」になってしまったことがある。私は深く考えずクラスの人に合わせて行動していた。みんなに笑われても、その人も笑っていた。集団宿泊であれだけ嫌な思いをしたのに何をしていたのだろう。しばらくして、その人は不登校気味になっていった。クラスで話し合いをされると言われた時、私は初めていじめをしていたのだと知った。言葉だけがいじめではない。行動で人を傷つけてしまったのだ。それも無自覚のうちに。その時は本気で後悔した。クラ

スの中で行われていたいじめを見抜けなかった自分に腹がたった。

そんなこともあって、人権に対して真剣に考えるようになった。もう、あの時みたいに後悔はしたくない。人が嫌がることをすれば、それはもういじめなのだ。

相手が笑っていたから分かったということを使う人がいるが、それを作り出しているのは私たちだ。知らず知らずのうちに追い詰めていじめているのは私たちだ。

今回の人権集会でいろいろなことを知った。その中でも一番心に残っているのは、「自分の普通と相手の普通は違う」ということだ。自分の「普通」は相手に嫌なことかもしれない。そのことを考えて行動していきたいと思った。相手の個性を受け止め、周りに流されない強い人間になりたいと思う。今回の人権集会は私にとってとても充実したものとなった。



相手の個性を受け止め周りに流されない強い人間になりたい

日々の稽古の成果を発揮

熊本女子剣道大会で銅メダル

第27回熊本女子剣道大会が2月25日、菊池市総合体育館で開催され、武蔵ヶ丘小学校2年の松山桜子さん(光3町内)が見事3位に入賞しました。

スポーツクラブきくようで上級生と稽古を重ね、稽古がない日には兄と素振りをしていたという松山さん。努力の成果が出たことに満面の笑みを浮かべ、応援に来ていた保護者に「ありがとうございます」と一礼。コーチの荒尾義広さんは「勝つという気持ちが強かった結果だと思います」と話しました。



結果に慢心せず強く心優しい剣士を目指します

連日の氷点下の朝続きおり接ぎ木のキュウリは芽の伸び遅く
日に向い眼とじればほのぼのと春の気配のせせらぎをきく
ろう梅の花を濡らして降る雨は音なく土にしみてゆくなり
澄む空に冠雪の阿蘇遠く見て今朝の歩みを少し伸ばしぬ
寒空に伸びたる枝の先端に冬芽鋭しソメイヨシノは

短歌会

雨あがる氷柱一本朝の月	緒方チエ子	霜踏むは天ぶら揚ぐる音めきて	田中 亜古
水槽の水も動かぬ寒日和	木村 信子	凍滝をなほも育つる夜となりぬ	佐藤 澄世
凍つる日や飲む熱々の生姜湯	吉田 幸子	堂々と雪上沙羅の眼の涙	北川しんじ
老うことも好きに生きたし寒椿	米山るみ子	春めいてお城マラソン賑やかに	福田 貴子
解く春の名残惜むや仮住ひ	曾我トモ子	泣きべその顔そのままに豆を撒く	高橋 孝子
ひよこ色蠟梅映ゆる寂の庭	曾我 育代	雪降りて遠き日のことかえり来る	寺尾千代子
遠望の雪嶺輝くちぎれ雲	紫藤 祥子	救急車いく度来るか春の夜	原野レイ子
穂音の寒空へ抜け棟上る	宮川ユキエ	氷上に笑顔と涙と友情と	財津 早雪
神ありて祈りのありて寒詣	田島 三間	消灯の窓の残照冬深む	田中 郁子
久に來し子等と語り臍かな	佐藤 節	極寒の月を浮かべて鯉眠る	志賀キヨ子

菊陽句会報

きくよう文芸

梅田 國雄
河北 幸一
佐藤せい子
中村トシエ
松本 東亜

「識字かるた」～識字学級34年目の展示発表～

「第34回東部町民センター講座発表会」が2月11日に開催されました。カラオケ教室や民舞、大正琴などのステージでの発表と書道作品や絵手紙などの展示による発表が行われました。「識字学級」の展示で昨年は「熊本地震で失ったもの、得たもの、学んだもの」を展示しましたが、今年は「識字かるた」の展示を行いました。菊陽町の中学生が使用している社会科の教科書(『公民』P.50)には「ともに生きる社会をみざす人たち」との題で「識字学級」の事が「(略)…識字学級は新たな自分を発見する場所であり、差別の中で就学の機会を奪われてきた人たちに学ぶ権利を保障する場所であり、厳しい差別を受けてきた自分自身を振り返り、人間の尊さを学ぶ場所でもあるのです。…(中略)…識字学級には『優しさ』と差別に立ち向かう『勇氣』があります。識字学級について学ぶことをきっかけに人間の生き方についても学んでいきましょう」と書かれています。菊陽町識字学級34年目の展示発表「識字かるた」を味わって人間の生き方について考えてみましょう。

- 【ふ】 ふるえてる 文字も書く手も ふるえてる
- 【ま】 孫の名を 上手に書けたよ 命名書
- 【ね】 年賀状 うまく書けたと 子に言われ
- 【と】 得ばかり 菊陽識字 我が宝
- 【た】 沢山の 想いを込めて 文字にする
- 【よ】 読み書きを おぼえて世の中 明るいよ



多数の作品が展示されました